

2020年「国際ジェンダー学会研究活動奨励賞」研究活動報告書

1. 提出日：2021年11月17日

2. 提出者氏名：李 亜姣(リ アコウ)

3. 申請した研究テーマ：

「土地金融化による収奪——中国都市中間階級女性の負債事例分析を中心に」

4. 研究活動報告

この度、2020年度国際ジェンダー学会研究活動奨励賞を受賞できたことを大変うれしく光栄に存じます。博士後期課程を終えたばかりで、収入がほとんどなかった私にとっては、非常にありがたいです。国際ジェンダー学会からの若い世代を育てる強いメッセージをしっかりと受け止めることができました。審査委員会の先生方々に、改めてお礼を申し上げます。

では、この一年間の研究活動を報告させていただきます。

2020年7月から8月にかけて、インターネットを通して資料・書籍を調べて、関連情報・論文を収集したり、理論部分についての議論を精読・レビューしたりしました。

コロナ禍により、中国の上海、北京などの大都市を中心にフィールドワーク調査を行うことはできなかったにもかかわらず、後で無事にオンライン・インタビューに切り替えることができました。2020年9月7日～20日、11月19日、11月25日、夫の債務に巻き込まれた女性13名、親戚1名を対象に、半構造インタビューを実施し、負債の経緯、婚姻状況、財産状況、子供等について聞き取りをオンラインで行いました。また、「24条公益グループ」のリーダーの一人を対象に、インタビューを実施し、政策提言活動（擬似ロビー活動）や「民間貸借」について聞き取りをオンラインで行いました。

また、2020年11月7日、中央大学（オンライン）で開催されたアジア政経学会2020年度秋季大会の自由論題4「中国の社会」で「中国土地金融化による収奪——農嫁女から負債女へ」というタイトルの報告をしました。本報告は、中国の都市部における女性の負債問題に焦点を当てて、オンライン・インタビュー調査のデータに基づいてその現状と原因を整理しました。土地金融化と債務者の関係、金融システム・リスクを防ぐバッファーとしての家族主義、メゾレベルの視点、リスクバッファーの役割から逃れる道筋等について質問が出されました。

2020年12月から2021年2月にかけて、テープ起こし、資料整理を行いました。2021年3月から7月まで、中国の信用市場では女性が排除されるかどうかを解明するために、判決文から失踪した夫／妻の貸借の経緯、財産状況、就労状況についての情報を読み取り、初歩

のジェンダー比較を行いました。

2022 年度の国際ジェンダー学会大会で研究内容を発表する予定です。その後、頂いたコメントを踏まえた上で、「土地金融化による収奪——中国都市中間階級女性の負債事例分析を中心に」を国際フェミニスト経済学会の学会誌 *The Journal of Feminist Economics* へ投稿する予定です。

以上です。